

アタッチメントと 子どもの発達

5/25 (金)
午後 3時~4時半
こべっこホール
こべっこランド7階
(神戸市総合児童センター)

講師
遠藤 利彦 さん
(東京大学大学院教育学研究科教授)



＜定員を超えるお申込みがあり受付を終了しました＞

近年、子育てや保育・幼児教育の領域において、とみに、人の一生涯に亘る心身の健康や幸せの土台になるものとして、乳幼児期に培われる非認知的（社会情緒的）な心の力に注目が集まってきています。

今回の講演では、その非認知的な心の力とは何なのか、その豊かな発達を支え促すものとして、養育者を始め、周囲の大人との緊密なアタッチメントがどのような意味で大切な役割を果たすと言えるのか、ということについて考えてみたいと思います。

特に養育者が、子どもにとって信頼できる「安心の基地」「安全な避難所」として在り、子どもがそこを拠点として「安心感の輪」を安定して回れること、そしてその輪を徐々に拡げていけることの重要性に関して、お話しできればと考えています。

○講師プロフィール

専門：発達心理学・感情心理学
赤ちゃんが特別な愛着を示す毛布、タオル、ぬいぐるみ等（漫画スヌーピーに登場するライナスが肌身離さず持ち歩いている毛布）の研究がきっかけで発達心理学に取り組むようになる。特に親子関係・家族関係とこどもの社会情緒的発達との関連性に関心がある。関西・関東地区の保育所の巡回相談活動、全国各地の保育士・幼稚園教諭、児童相談所、乳児院、児童養護施設等の職員研修にも携わっている。NHK 教育テレビ「すくすく子育て」にも出演。

主な著書

「アタッチメント・生涯にわたる絆」（共編著）ミネルヴァ書房 2005
「アタッチメント障害とその治療：理論から実践へ」（共監訳）誠信書房 2008
「赤ちゃんの発達とアタッチメントー乳児保育で大切にしたいこと」ひとなる書房 2017

対象

子育て中の方、子育て支援に関わる方、児童福祉関係者、保育・教育に携わる方等ご関心のある方どなたでも

定員

150名 参加費 無料

お申込み

＜受付終了＞

お電話・FAX・E-MAILにて
参加者名・連絡先を下記の家庭養護促進協会まで
裏面に FAX 申込書と会場地図があります

主催：公益社団法人 家庭養護促進協会

TEL (078) 3 4 1 - 5 0 4 6

FAX (078) 3 4 1 - 1 0 9 8

E-mail ainote@kjd.biglobe.ne.jp

〒650-0016

神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市総合福祉センター2階

1962年から、こどもたちに里親・養親を求める活動を続けてきた民間の児童福祉団体です



送信先 : 家庭養護促進協会 神戸事務所 FAX専用 (078) 341-1096

■ 2018/5/25(金)「アタッチメントと子どもの発達」 ■
FAX 申込み書 下記にご記入の上、送信してください

受講者のお名前	連絡先:電話番号	FAX番号
E-MAIL	(メールでの連絡をご希望の方は、アドレスをお書きください)	
ご所属(あれば)		

定員に達し、ご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします

〈定員を超えるお申込みがあり受付を終了しました〉

会場案内：こべっこランド（神戸市総合児童センター）

神戸市中央区東川崎町1丁目3-1 TEL 078-382-1300

■ 交通案内

- ・ JR「神戸駅」下車、南に徒歩5分
- ・ 神戸市営地下鉄「ハーバーランド駅」下車、南へ徒歩5分
- ・ 神戸高速鉄道「高速神戸駅」下車、南へ徒歩10分

